



「歴史が感じられてすてきな街。英語の案内板が多いから行きたい場所をすぐに探せる」。オーストラリアから夫婦で来日したエレノア・ヒューズさん(53)は笑顔を見せる。

高齢者や障害者に優しいバリアフリー先進地、岐阜県高山市は外国人にも人気の観光地だ。二〇〇七年に同市を訪れた外国人観光客は前年比二二%増の十三万二千三百

古い街並みが外国人観光客でにぎわう(岐阜県高山市)

### 外国人が支える観光地

### ④ 岐阜県高山市

人。人口比では一・四倍と全国の観光都市の中で群を抜く。仏ミシュランの日本観光ガイドで、東京や京都などとともに三つ星を獲得したことも追い風となった。

確かに街のあちこちに英語や中国語、韓国語でも記した案内板が立つ。市のサイトはロシア語やスペイン語など十カ国語で名所を紹介する。

だが外国人への本当の優しさは言葉以外の取り組みにある。市は〇二年

### もてなす心もバリアフリー



者からの要望だ。旅館や土産物店でも独自に会話集などを作り、従業員に心の準備をさせている。

「目に見えないバリア(障壁)が残っているのは、おもてなしの心は伝わらない」。土野守市長にモニターツアーを提案した飛驒高山東京事務所

「バリアフリーは一つ取り組むと、以前は見えなかった新たなバリアが浮かび上がってくる」と土野市長。「外国人に

以降ほぼ毎年、外国人によるモニターツアーを催し、参加者の声を街づくりに生かしてきた。最新の英語版の街歩きガイド本では、気温はセ氏とカ氏を、地図上の距離はメートルとマイルを併記。「寿司」と「鮓」が同じ料理を指すことも説明し「バリアフリー」の街づくりに終わりは無い。